

## 2021 年度事業報告

### I 事業実施状況

#### 【I ジュエリーデザインの公募に関する募集、審査、授賞対象の発表、表彰に係る事業（公益目的事業1）】

1964年創立当初から概ね隔年で31回に亘り開催してきた公募展を発展させ、ジュエリーデザインのより高度な振興を図る。ジュエリーを素材価値だけでなく造形分野として、広く実作品を公募し、審査・表彰することにより日本のジュエリーデザインの質の向上を図り、国際的な地位確立と次世代の人材育成を目的としている。2021年度は、前回に引き続き海外部門を設け「第32回公募2022日本ジュエリー展JAPAN JEWELLERY COMPETITION」の募集、審査を行い、本事業及びジュエリーデザインの普及啓発を図った。

#### (1) 応募要項発表・審査

ジュエリーデザインの実作品による公募を一般、学生、会員、海外を対象に行い、審査を行った。

応募内容	あらゆる素材が使用できる。装身具として着用できる。独自性を伴った質の高いジュエリー。 ・一般部門 ・under26 部門（2022年3月末時点で26歳以下の者） ・JJDA 会員部門 ・海外部門		
選考基準	創造性があること／独創的であること／提案性があること／素材及び技術が的確であること		
日程	公募開始 2021年11月	応募登録締切 2022年3月4日(海外部門 2022年2月1日)	
	作品締切 2022年3月15日	審査日 2022年3月23日	
審査員長	柏倉主和		
招待審査員	太刀川英輔（NOSIGNER 代表、（公社）日本インダストリアルデザイン協会理事長） ※やむを得ない事情で松本有（（公社）日本インダストリアルデザイン協会理事）が審査を代行 水沢勉（美術評論家、神奈川県立近代美術館長）		
協会審査員	河辺由利／木村善明／菅沼裕美子／山崎茂樹		
応募者総数	296名・全670点	入選者総数	241名・全576点
部門別内訳	一般部門 応募98名 入選76名 / under26 部門 応募69名 入選49名 JJDA 会員部門 応募88名 入選85名 / 海外部門 応募数41名 入選31名（20ヶ国より応募）		
受賞者	大賞1名 TATIANA APRAEZ（海外部門・コロンビア） 優秀賞2名 / under26 部門賞1名 / 海外部門賞1名 / 招待審査員賞2名 / 特別賞 日本ジュエリー協会賞1名 / 奨励賞6名		

#### (2) 審査発表及び展示の諸準備

- ・2022年3月に確定した審査結果を3月中に応募者へ通知した。
  - ・2022年度における受賞及び入選作品の展示の諸準備を行った。
- 展示会期 2022年6月8日～6月13日 会場 東京都美術館

#### (3) 主催・後援・協賛

- ・主催 （公社）日本ジュエリーデザイナー協会
- ・後援 経済産業省／文化庁／（公財）日本デザイン振興会／  
（一社）日本ジュエリー協会／（公社）日本インダストリアルデザイン協会／  
（公社）日本インテリアデザイナー協会／（公社）日本グラフィックデザイン協会／  
（公社）日本サインデザイン協会／（一社）日本空間デザイン協会／  
（公社）日本パッケージデザイン協会／（一社）総合デザイナー協会／  
日本経済新聞社
- ・協賛 栄光時計（株）／東京真珠（株）／（有）トーヨー精工／（株）ナガホリ／（一社）日本ジュエリー協会

## 【Ⅱ ジュエリーデザインに係る調査研究及び人材育成に関する事業（公益目的事業2）】

初心者へは、デザインとものづくりの体験講座を開催しジュエリーへの関心を広めた。

中上級者へは、ジュエリーの歴史、文化に関する専門家による講演会を開催し、知識を深めることにより、最終的にプロへの道を拓くべく人材育成のステップアップ及びデザインの技術向上を図った。

また、国際的課題である知的財産権に関して、ジュエリーデザインの分野での産業財産権及び著作権等に係る諸問題を調査研究し、デザイン価値の重要性を社会に発信した。

### (1) 調査研究

#### ① 知的財産権の研究と推進

意匠権、著作権などジュエリーデザインにおける知的財産権に関し、その重要性をホームページ上において継続公開し普及推進した。日本ジュエリーデザイン史研究会が発足し、戦後のジュエリー史における研究を進めた。

日本デザイン団体協議会（D-8）内のデザイン保護研究会へ参加し、デザイナーを対象とするアンケート調査の内容を精査・検討した。

### (2) セミナー・講演会

ジュエリーの文化、発達史、技術などをグローバルに研究する専門家を招いて講演会を行った。

#### ① JJDA 講座「ジュエリーデザイナーのための法律講座・2nd ステップ 意匠権」

会期 2021年11月23日 会場 Zoomにて実施 参加者 32名 講師 新田真之介氏（弁護士）

#### ② JJDA 講座「ジュエリーデザイナーのための法律講座・3rd ステップ 特許権」

会期 2022年2月23日 会場 Zoomにて実施 参加者 25名 講師 新田真之介氏（弁護士）

### (3) 実地体験

デザインとものづくりの体験講座並びに技法の実技講座を開催しジュエリーへの関心を広めた。

#### ① JJDA 講座「テクニカルセミナー『蜜蝋による引目技法』」

会期 2021年8月29日 会場 Zoomにて実施 参加者 15名 講師 荒川芳秋氏（JJDA 正会員）

#### ② JJDA 講座「珠数かおり氏によるオンラインセミナー＋工房見学、制作実演」

会期 2022年2月5日 会場 Zoomにて実施 参加者 60名

講師 珠数かおり氏（コンテンポラリージュエリーアーティスト）

### (4) 講師派遣の実施

#### ① 「JJA ジュエリーデザインアワード2021」 主催：（一社）日本ジュエリー協会 へ審査及び JJDA 会長賞選定・贈賞の協力を行った。

審査 2021年7月6日 柏倉主和

表彰式 2021年11月24日 柏倉主和（於 アイメッセ山梨 ジャパンジュエリーフェア会場）

#### ② 「第111回貴金属宝飾品装身具創作コンクール審査会（主催：東京貴金属工芸品工業協同組合）へ審査協力および JJDA 会長賞の選定を行った。

審査 2021年9月27日 柏倉主和、青木敦子

#### ③ 「第15回糸魚川翡翠ジュエリー・アクセサリデザイン画コンテスト」（主催：糸魚川翡翠デザイン画コンテスト実行委員会 構成 糸魚川法人会、糸魚川商工会議所他）へ審査の協力を行った。

審査 2021年12月14日 柏倉主和、岩間大

#### ④ 文化ファッション大学院大学 ファッションマネジメント専攻 ファッション経営管理コース

後期授業「ファッション商品論Ⅱ」授業内特別講義に講師を派遣した。

講師 星野学 日程 2022年2月8日 時間 90分 講義主題「宝飾品、装身具の基礎知識」

受講者 ファッションマネジメント専攻 ファッション経営管理コース 1年生

### 【Ⅲ 国内外の優秀なジュエリーデザインを展示及びジュエリーデザイン情報の発信をすることにより、人々の生活文化の向上に寄与する事業（公益目的事業3）】

国内各都市の展示会場で最新のジュエリーデザインの実作品を展示することにより、人々の生活文化の向上を図ることを目的とする。

日本のジュエリーデザインの世界への発信を、さらに拡大し充実させるため、海外情報の収集と JJDA からの情報発信を推進し、国際相互理解の促進に努めた。

機関誌の発行及びホームページによりジュエリーデザインに関する情報を、広く一般に提供し、訴求活動を行った。

#### (1) ジュエリーデザインの展示等による普及・啓発

##### ①展覧会 2021 日本のジュエリーアート「風のロマン」開催

JJDA に所属する正会員、名誉会員が参加し、最新のジュエリーデザインの実作品を展示することにより、人々の生活文化の向上を図った。

会期 2021年11月30日～12月5日 会場 ヒルサイドテラス E棟ロビー（東京・代官山）

出品者 88名 作品数 192点

##### ②中部地区 Study of Contemporary Jewellery 研究成果発表展「あお」WEB展覧会&ギャラリートーク

2020年度企画の「コンテンポラリージュエリーを創るワークショップ」の研究発表の場として、作品及びコンセプトのWEB展示をし、ギャラリートークを行うことによりジュエリーデザインの情報を発信した。

(WEB展覧会) 会期 2021年10月1日～31日 会場 当会ホームページ上 出品者 9名

(ギャラリートーク) 会期 2021年10月17日 会場 Zoomにて実施 パネリスト 6名 視聴者 9名

#### (2) ジュエリーデザインに関する海外交流及び発信

海外交流事業の拡大を見据え、アジア、欧米の諸機関とのネットワーク形成を推進し連携を図った。

ホームページ等を中心とした協会及び日本のジュエリーデザインに関する情報資料を充実させ、相互リンクの拡大を図るなど、情報の発信の体制を構築した。

##### ①スーザン・ピーチ氏セミナー

会期 2021年11月12日 会場 Zoomにて実施 参加者 64名

講師 スーザン・ピーチ氏（ドイツのコンテンポラリージュエリーアーティスト）

#### (3) 情報発信

機関誌及びホームページによりジュエリーデザインに関する情報を、広く一般へ提供した。

機関誌では、事業の詳細な報告を、ホームページではタイムリーに公募事業の予告、各 JJDA 講座、展覧会等の開催に関する情報を発信した。SNS の活性化も図った。

##### ①機関誌「JJDA2022 No.56」A4版 32頁 2022年1月発行

各事業活動のほか、特集記事は「現代根付」について紹介をした。

会員及び関連団体等へ広く配布するとともに、事業実施会場などで頒布した。

##### ②JJDA ホームページの運営を充実化（継続）<https://www.jjda.or.jp>

各事業内容の更新、広報担当者による Facebook、Twitter、Instagram へのタイムリーな情報掲載を行った。

##### ③ジャパンジュエリーフェア 2021 に於いて協会広報ブース出展。協会事業の情報発信と PR を行った。

会期 2021年11月24日～26日 会場 アイメッセ山梨（山梨県甲府市）

##### ④プレスリリースによるメディアへの働きかけを強化

##### ⑤ジュエリーデザインに関するデータベース構築

協会保有の各種データベースを更新完備し全事業へ活用した。

##### ⑥JJDA パンフレットの改訂版作成

和文・英文共に改訂版を作成し、事業実施会場など国内外へ配布した。

## 【IV その他事業】

### (1) 会員相互の交流事業

会員相互の交流を活性化し、長年在籍する会員から若年層への創作技法の伝承、見学会などを通して情報交換を行った。

#### ①活動促進 「Zoom 体験会」

会期 2021年4月14日 会場 JJDA 事務局 参加者 3名

#### ②活動促進 「ちょっと早めの Zoom 納涼会」

会期 2021年7月21日 会場 Zoomにて実施 参加者 33名

#### ③活動促進 「Zoom でつなぐ 石・工具の譲渡サポート会」

会期 2022年1月26日 会場 Zoomにて実施 譲渡希望者 6名 視聴者 8名

#### ④活動促進 「ちょっと遅めの Zoom 新年会」

会期 2022年2月16日 会場 Zoomにて実施 参加者 19名

### (2) 会報「FROM JJDA」7回発行 「メルマガ from JJDA」36回発行 事務局編集・発行

各委員会、事務局よりの事業準備及び報告情報を会員へ速やかに伝えた。

### (3) 内外ジュエリーデザインに関する関連団体との連絡及び協調

#### ①日本デザイン団体協議会 (D-8) への参加

##### ・D-8 運営会議 (全て Zoom 会議)

2021年7月27日 柏倉会長、青木専務理事/2022年2月18日 西澤副会長、青木専務理事

##### ・D-8 代表者意見交換会 (全て Zoom 会議)

2021年9月7日 柏倉会長/10月18日 柏倉会長、岩間副会長/12月6日 岩間副会長、西澤副会長  
2022年2月18日 西澤副会長、青木専務理事

##### ・デザイン保護研究会 (全て Zoom 会議)

2021年6月9日 西澤副会長/9月14日 西澤副会長/11月16日 降旗事務局長 (代理出席)  
2022年1月25日 西澤副会長、星野理事/3月24日 黒沢理事

##### ・JD (JAPAN DESIGNERS) 広報特別委員会 (全て Zoom 会議)

2021年4月28日 齋藤中部地区副会長、管理事 (代理出席) /5月27日 管理事 (代理出席)  
11月11日 海野理事、降旗事務局長 (代理出席)

##### ・ジャパン デザイン ミュージアム設立研究委員会

日本における総合的なデザインミュージアムの設立を目指し、D-8 と共同活動を行っている。ジュエリーの変遷を精査し、暮らしや文化産業に関わるジャパンデザインの検証を実施している。

##### <D-8JDM 設立研究委員会> (全て Zoom 会議)

2021年4月5日 菅沼 JDM 委員/4月21日 西澤副会長、菅沼 JDM 委員/5月17日 西澤副会長、管理事、菅沼 JDM 委員、高橋 (まき子) JDM 委員/6月7日 西澤副会長、菅沼 JDM 委員/6月16日 西澤副会長、管理事、菅沼 JDM 委員、高橋 (まき子) JDM 委員、高橋 (なほ子) JDM 委員、村橋 JDM 委員/7月5日 管理事、菅沼 JDM 委員/7月14日 西澤副会長、管理事、菅沼 JDM 委員/8月3日 管理事/8月18日 西澤副会長、管理事/9月15日 管理事/9月22日 西澤副会長、菅沼 JDM 委員/10月20日 管理事、菅沼 JDM 委員/11月8日 西澤副会長、管理事/11月17日 西澤副会長、管理事、菅沼 JDM 委員/12月7日 西澤副会長、管理事/12月27日 西澤副会長、管理事

2022年1月19日 西澤副会長、管理事、菅沼 JDM 委員、高橋 (まき子) JDM 委員/2月16日 西澤副会長、菅沼 JDM 委員/3月16日 西澤副会長、管理事

##### <豊島区シンポジウム関連>

10月13日 豊島区民センター会場視察 菅沼 JDM 委員

12月13日 JDM 研究発表会 in 豊島区シンポジウム (としま区民センター6F 小ホール) 青木専務理事、管理事、菅沼 JDM 委員、西澤副会長 (司会として登壇)、降旗事務局長

②国内外の諸団体の事業への後援・協賛・協力

◇後援事業

<開催日>	<事業名>	<主催>
<u>2021年</u>		
5月1日～5日	Contemporary Jewellery Symposium Tokyo 2021	コンテンポラリージュエリーシンポジウム東京
5月19日～5月22日	インテリア ライフスタイル 2021	メッセフランクフルト ジャパン (株)
5月22日～29日	World Interiors Week 2021 in Japan	(公社) 日本インテリアデザイナー協会
7月31日～10月26日	第4回 E Quality of Beauty Contest 2021	(一社) 金属アレルギー協会
9月1日～3日	ジャパンジュエリーフェア 2021	インフォーマ マーケッツ ジャパン(株) / (一社) 日本ジュエリー協会
9月1日～2022年1月	第15回糸魚川翡翠ジュエリー・アクセサリデザイン画コンテスト	糸魚川翡翠デザイン画コンテスト実行委員会
9月16日～17日	第63回大阪インターナショナル・ギフト・ショー	(株) ビジネスガイド社
9月25日～10月3日	ジュエリーの新しい風景展 in 金沢 New Landscapes in Jewellery	cuore mariko 小早川真理子
10月7日～14日	第54回日本七宝作家協会 (公募)	(公社) 日本七宝作家協会
10月18日～20日	IFFT/インテリア ライフスタイル リビング 2021	メッセフランクフルト ジャパン(株)
10月27日	第23回福岡デザインアワード	福岡県産業デザイン協議会、福岡県
10月28日～11月6日	次世代を担うデザイン展 2021	(公社) 日本インダストリアルデザイン協会
12月～3月	高校生デザインコンテスト 2022	(学) 水野学園 専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ

2022年

3月9日～10日	第3回京都インターナショナル・ギフト・ショー2022	(株) ビジネスガイド社
----------	----------------------------	--------------

◇協賛・協力事業

2021年

10月13日～15日	第92回東京インターナショナル・ギフト・ショー秋 2021	(株) ビジネスガイド社
12月16日～26日	光と音のシンフォニー「ライティング・オブジェ 2021」	ライティング・オブジェ制作委員会
2月8日～10日	第89回東京インターナショナル・ギフト・ショー春 2022 /	(株) ビジネスガイド社

③デザイン関連団体及びジュエリー関連団体との交流

7月6日	(一社) 日本ジュエリー協会 JJA ジュエリーデザインアワード 2021 作品審査会	柏倉会長
9月7日	スリランカ大使館 商務官、アシスタント来訪	柏倉会長、青木専務理事
9月27日	東京貴金属工芸品工業協同組合 第111回貴金属宝飾品装身具創作コンクール審査会	柏倉会長、青木専務理事
11月24日	(一社) 日本ジュエリー協会 / インフォーマ マーケッツ ジャパン(株) JJA 開会式、JJA ジュエリーデザインアワード 2021 表彰式	柏倉会長
12月14日	糸魚川翡翠デザイン画コンテスト実行委員会	第15回糸魚川翡翠ジュエリー・アクセサリデザイン画コンテスト審査会 柏倉会長、岩間副会長
12月16日	ライティング・オブジェ制作委員会 ライティング・オブジェ 2021 点灯式	青木専務理事、上原職員

## 【V 管理等】

### (1) 会議開催

①総会開催 2021年5月27日 ②部会長会議開催 2022年1月11日

### (2) 諸規定の整備

### (3) 会員情報データベースの整備

### (4) 会員章碑の作成

### (5) 協賛店の整備 現協賛店へ継続協力依頼の準備

### (6) 正会員・賛助会員入会促進の検討

### (7) 一般への情報提供サービスの検討

### (8) 予算書・決算書作成

### (9) 素材表記の検討・精査

### (10) 会費納入の徹底

・会費の口座引落による分割納入手続きを継続導入した。

## II 会議開催状況

		期 日	会 場	出席数
1. 総会	第10回定時総会	2021年5月27日	JJDA事務局会議室	185名 (本人出席3名、委任状出席182名)
2. 理事会	第58回定例理事会	2021年4月22日	Zoom会議	理事14名・監事2名
	第59回臨時理事会	〃 5月27日	Zoom会議	理事15名・監事3名
	第60回定例理事会	〃 7月30日	Zoom会議	理事15名・監事2名
	第61回定例理事会	〃 10月19日	Zoom会議	理事15名・監事2名
	第62回定例理事会	2022年1月17日	Zoom会議	理事14名・監事2名
	第63回臨時理事会	〃 2月28日	Zoom会議	理事14名・監事3名
	第64回臨時理事会	〃 3月15日	Zoom会議	理事15名・監事2名
3. 部会長会議	第1回部会長ミーティング	2021年9月16日	Zoom会議	20名
	第1回部会長会議	2022年1月11日	Zoom会議	20名
4. 委員会・部会		<開催日>		<場所>
公募展部会		4/30, 6/4, 6/30, 7/29, 8/24, 8/26, 9/9, 12/16, 1/24, 2/8, 3/14		Zoom会議
調査研究・創作保全部会		7/1, 8/5, 11/18, 11/30, 2/3, 2/7, 2/22		Zoom会議
展覧会部会		4/30, 6/9, 7/8, 7/21, 8/25, 9/6, 9/28, 10/7, 10/12, 10/28, 11/5, 11/18, 11/22, 11/25, 12/22, 1/28		JJDA事務局会議室・Zoom会議
広報部会		6/17, 7/19, 9/13, 1/28		Zoom会議
出版部会		6/15, 7/20, 9/8, 9/10, 9/17, 9/21, 10/1, 10/8, 10/22, 11/8, 11/19, 12/7, 12/14, 12/20, 1/31		JJDA事務局会議室・Zoom会議
海外交流部会		6/7, 7/16, 12/6, 2/4		Zoom会議
活動促進部会		6/30, 11/10, 12/15, 1/19		Zoom会議
総務・財務部会		4/9, 5/12, 5/25, 8/24, 9/13, 10/25, 12/24, 2/15		Zoom会議
東日本地区部会		10/7, 12/2		Zoom会議
関東地区部会		1/14		JJDA事務局会議室
中部地区部会		10/17		Zoom会議
近畿地区部会		9/24, 11/22, 1/25		
ジャパンデザインミュージアム研究委員会		5/18, 6/1		Zoom会議

### Ⅲ 2021年度会員異動状況

#### 【入 会】（2021年度入会承認）

##### ◇正会員

会 員 別	2021年4月1日	2021年4月1日～2022年3月31日		2022年3月31日
		入 会	退 会	
正 会 員	285	10	18	272
賛 助 会 員	20	3	1	22
名 誉 会 員	7	0	0	7
合 計	312	13	19	301

雨宮二郎、安藤麻紀、岩佐慎太郎、上杉健吾、大岩典史、佐伯洋子、逆瀬川亜紀、鈴木広樹、高瀬真理、藤澤英恵

##### ◇賛助会員

澁谷 深幸（個人）

株式会社クニタケ

株式会社東宝堂

#### 【退 会】

##### ◇正会員

荒居砂羅、伊藤光紀、大橋美子、大森菜穂子、岸本則子、切中優希子、窪田敦子、河野裕治、佐野俊郎、友安昭、中山悦子、西下倫子、フジタジュリオ、戸次郁子、保坂恭子、堀雅彦、松本浩美、渡部紫苑

##### ◇賛助会員

株式会社ジュエリーアセットマネジャーズ

#### 【物 故】

##### ◇正会員

翁淳（2021年10月28日逝去）

金子和子（2021年6月4日逝去）

八杉真由美（2021年11月13日逝去）

和貝ノリ子（2021年4月29日逝去）

脇坂治朗（2021年9月12日逝去）

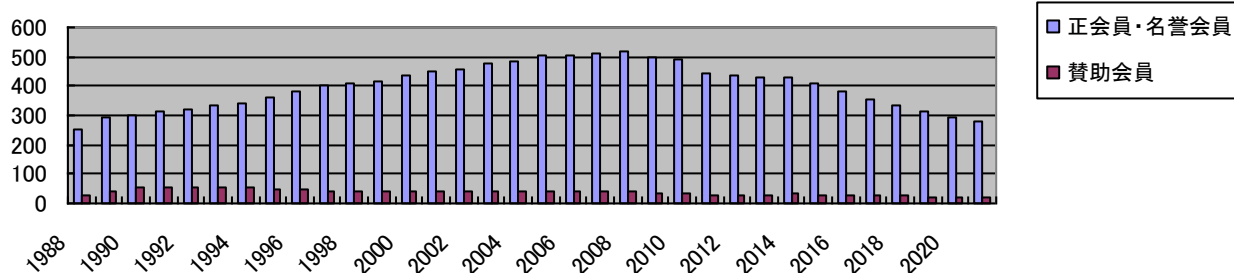
#### IV 会員数推移

(社団法人化以降)

年度末	正会員	賛助会員
昭和 63 年	252	24
平成元年	294	44
平成 2 年	300	56
平成 3 年	315	56
平成 4 年	320	54
平成 5 年	332	54
平成 6 年	343	52
平成 7 年	363	50
平成 8 年	382	47
平成 9 年	402	43
平成 10 年	408	41
平成 11 年	417	41
平成 12 年	434	39
平成 13 年	453	41
平成 14 年	459	44
平成 15 年	475	44
平成 16 年	485	42

平成 16 年度より名誉会員含む

年度末	正会員・ 名誉会員	賛助会員
平成 17 年	503	42
平成 18 年	505	42
平成 19 年	513	43
平成 20 年	519	39
平成 21 年	501	35
平成 22 年	488	31
平成 23 年	445	27
平成 24 年	439	26
平成 25 年	432	29
平成 26 年	427	31
平成 27 年	406	27
平成 28 年	384	26
平成 29 年	356	26
平成 30 年	333	24
2019 年	311	22
2020 年	291	20
2021 年	279	22



2021 年度事業報告には、附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

(2022 年 3 月 31 日現在)